

福島支部中体連総合大会

中学生も先生方も、よく「中体連（ちゅうたいれん）」と言いますが、これは中学校体育連盟の略です。この組織は、全国的な組織です。野田中学校でいうと、福島支部、県北地区、福島県、東北、そして全国となります。

日程を確認します。6月7日（火）・8日（水）・9日（木）が福島支部大会、6月21日（火）・22日（水）が県北地区大会、そして7月22日（金）・23日（土）・24日（日）が県大会となります。東北大会と全国大会は、8月となります。

福島支部は、福島市と川俣町（川俣中学校・山木屋中学校）です。県北地区は、福島支部と伊達支部と安達支部です。県大会になると、県北地区、県中地区、県南地区、会津地区、相双地区、いわき地区の大会を勝ち抜いたチームや選手が参加することになります。ほとんどの競技は、総合大会で実施されますが、陸上競技は、別の日程になります。

6月7日（火）からの福島支部大会が、中体連の最初の大会となります。この大会には、多くの3年生が出場することになります。県北大会に出場するには、支部大会を勝ち上がり、出場権を得なければなりません。ということは、福島支部大会で負けてしまうと、部活動を引退（いんたい）することになる3年生が多いということです。“最後の大会”になるかもしれないのです。

福島支部大会まで、あと10日です。ここから、技術的に大きく伸びることはむずかしいかもしれませんが、やれることはたくさんあります。物事は、最初と最後、特に最後が大切です。

早く試合をしたい人もいれば、まだまだ大会を迎えたくない人もいるでしょう。試合になれば緊張もするでしょう。それは誰でもそうです。これからも試合に限らず、緊張する場面はやってきます。人は緊張した中で、どのくらいのことができるか、それが重要なことです。

大会では、試合の相手がいます。試合の結果は、その相手に勝った、負けたとなります。ところが、実は、相手ではなく自分自身に負けてしまうことがあります。弱気になる、自分の力を出せなかった場合の多くが、その状態です。あるいは、相手が強そうだからと、最初から逃げてしまうこともあります。こうなると、残るのは「後悔（こうかい）」です。試合が終わってから、ああすればよかった、こうすればよかったとなります。

ここからの10日間は、自分の心と対話する期間です。自分はどうしたいのか、どんな試合をしたいのか、よく考えることが必要です。

また、団体種目であれば、チームの仲間がいます。この存在は、かけがえのないものです。自分たちのチームの勝利に向かって、みんなの心が一つになる。ぜひ、そんな経験をしてほしいと思います。それができるのが、福島支部中体連総合大会です。